

而して造船機製罐部職工等ノ態度ヲ見ルニ同部ニ於て前記石橋云
田井上ノ外野合意甚良後ノ木純一ノ派ノ友愛合身ハ電正会同族
要求等ヲ授生不之ニ舟余程考慮ニ居ルモノ、如ク曰下ノ各其時期
非スト唱へ居ルモノ、如シ

川崎造船廠分工場ニ於て電正会同族ノ要求ヲ為シト兼田富太
郎、行政長兼其子種、本舟走シ之シカ暫キヲ求ムル為ニ日以來引
続キ運動ヲ為シ四月二十日ニ時、茶田、行政等ニ名分工場下
田子務長ニ面會シテ嘆息甚（電正工月報ノモノ）ヲ本社ニ取次方
ヲ依頼シ押向答ノ未同子務長ニ一復侵及ヲ依頼シ引取タ
七越ナリ
(七月五日)

労働組合確認運動大会ノ本委員賀川豊彦、久苗、岡成志(大
工部、石橋)復、木純一、野合、葛田、五名、今大会決議ヲ推シ、五月

午前十時、自動車にてオオノ神戸製鋼所ヲ訪ヒ、村田外ニ重役ニ会
シ、四更等々差生シ、大政市以テ勿論、神戸市以テ各工場並ニ総
員ハ必働勉等々、今認めシレントハ刻下ノ急務ト思惟スルヲ以テ、所
慮ヲ之ヲト告、賀川ノ答言ニ對シ、三木重役ハ答、テ「本件ノ関シ
テハ、政等ニ於テ種々確定セラシツ、アリト聞ク、エ社ニ於テモ同
ノ見地ナリ、尚熟考ノ余地ナリト思フ故ニ、今直チニ是水ノ確答ヲ
ナシ難シト函會ヲ約シ、要旨詳述セリ

前記交渉委員ハ午而ニ時、川崎造船所ニ、永留重役ヲ訪ヒ、先ノ賀川
大会ノ決議ヲ示シ、同シ今見テ中々ミタハ次第ヲ前提シ、續断的労働
組合ノ確認ヲ三度諾セラシメ、ト之ニ對シ、永留重役ハ「認容スルニ
絶対ニ拒絶シ、賀川ハ「然ラハ今社内ニ設立セル電正会ヲ以テ、認
ムルヤト望シ、永留重役ハ「自ラ等ヲ認容スルヲ認メスト、認ヒ、結
部ノ要求ヲ拒絶シ、タリ、此石僅ニ三十分